

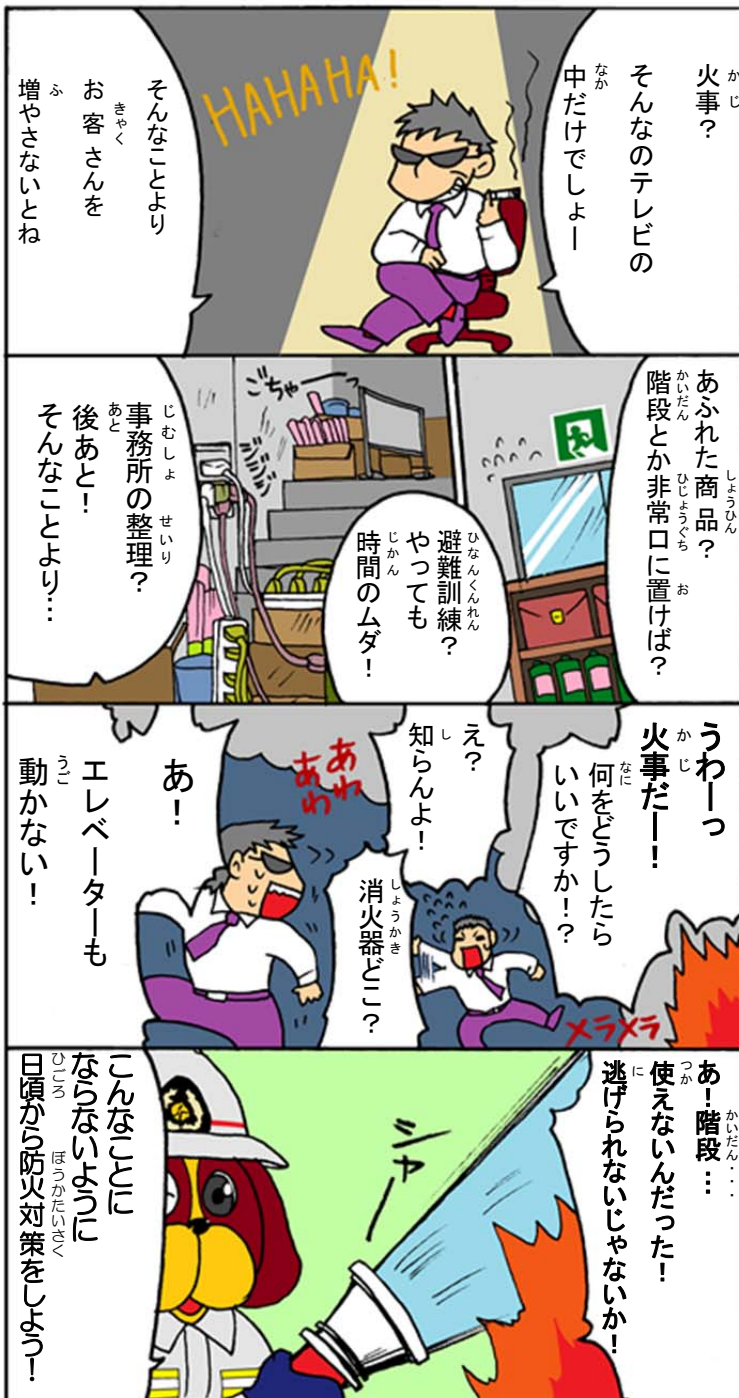
火災で大きな被害を 出さないために



福岡市消防局
マスコットキャラクター
ファイ太くん

「もしここで火事が起こったら、一番近い消火器はどこだろう…」
「いつも使ってる階段(通路)が使えなかったら、どうやって逃げよう…」
普段から災害についてイメージすることが大切です

極端な例ですが…



被害拡大につながった事例

事例① 従業員が消防設備の取り扱いを知らず、設置してある場所も知らなかった。
⇒ 火事が起こったとき、消火器の場所が分からず右往左往！やっと消火器を見つけても使い方が分からず、火に向かってそのままポイ！結局、建物は焼けてしまいました。

事例② 防火扉の前や防火シャッターの下に物を置いて、使用できなくしていた。
⇒ 防火シャッターの下に商品を置いていたので、火事なのにシャッターが開かず、煙が早期に充満。火がさらに燃え広がってしまいました。

日頃からできる火災予防の

ポイント

- ・消火器の場所や使い方を確認する
- ・避難経路となる通路や階段に物を放置しない
- ・火のそばから離れるときは、必ず消す
- ・子どもの手の届くところに、火気を置かない
- ・たばこの灰皿には水をいれる
- ・ストーブのそばに燃える物を近づけない

地域の防災訓練や福岡市民防災センターで、

消火器の使い方などの体験ができます